

第6回大阪府道路メンテナンス会議を開催しました！

平成27年8月26日（水）、大阪府下の道路管理者（大阪国道事務所、大阪府、大阪市、堺市、府下41市町村、NEXCO西日本、阪神高速）が一堂に会し、「第6回大阪府道路メンテナンス会議」を開催しました。

会議では、平成26年度の大阪府内の橋梁やトンネルの点検結果及び平成27年度の点検計画等について、報告がありました。



会長のあいさつ

大阪府道路メンテナンス会議とは

平成26年4月14日の国土交通省社会資本整備審議会『道路の老朽化対策の本格実施に関する提言』を受けて、大阪府下の道路管理者間の情報共有や自治体への技術支援を目的に平成26年5月23日に設立された会議です。

[第6回会議の主な議題]

1. 平成26年の取組状況

- 道路の老朽化対策の本格実施に関する提言 概要
 - ・産学官のリソース（予算・人材・技術）を全て投入し、総力をあげて本格的なメンテナンスサイクルを始動する。
- 「道路メンテナンス年報」（暫定版）の国土交通省本省公表資料の紹介
- 近畿地整管内の点検実施状況
 - ・昨年7月の省令施行を踏まえ、道路管理者は、すべての橋梁、トンネル等について、5年に1回の近接目視による点検計画を策定。平成26年度の点検実施率は約8%、トンネル約15%、道路附属物等約15%となっている。
- 大阪府内の平成26年度の点検結果
 - ・判断区分がIV「緊急に措置を講ずべき状態」の施設（橋梁：1橋、道路附属物：1基）については、すでに緊急措置を実施済みである。



2. 平成27年度の見通し

- 平成27年度の点検計画
- 大阪府内の点検業務の地域一括発注の中間報告
 - ・平成27年度は4市町村、計53橋梁の点検を実施している。一括発注することで、予算を抑えられるというメリットがある。また、点検研修も併せて実施しており、土木技術者の育成にも力をいれている。
 - ・一括発注を採用した市町村からは、職員不足や予算面でのメリット、研修の有効性についての意見があった。
- 新技術等を用いた点検方法など、参考となる情報はこの会議において共有していく。

大阪府道路メンテナンス会議に関するお問い合わせ先
大阪国道事務所 保全チーム
TEL：06-6932-1421